

ファイナンシャル・プランニング技能士 3 級

ファイナンシャル・プランニング技能士は、顧客の資産に応じた貯蓄や投資などのプランを立案したり、相談に乗ったりするのに必要な技能を認定する国家資格です。

3 級から 1 級までありますが、本校では 3 級の取得を目標にしています。

試験内容

学科試験と実技試験が行われ、それぞれ合否判定が行われます。学科試験あるいは実技試験どちらか一方の合格者には一部合格証書が発行され、**両方に合格すると合格証明書が発行**（資格取得）されます。

また実技試験は、「個人資産相談業務」と「保険顧客資産相談業務」のいずれか一つを選択して受験します。

学科試験

- ライフプランニングと資金計画（ライフプランニングの考え方などについて）
- リスク管理（リスクマネジメントや保険制度全般などについて）
- 金融資産運用（マーケット環境の理解や投資信託などについて）
- タックスプランニング（所得税の仕組みや損益通算などについて）
- 不動産（不動産の見方や不動産に関する法令上の規制などについて）
- 相続・事業承継（相続財産の評価や不動産の相続対策などについて）

実技試験

- 関連業法との関係及び職業上倫理をふまえたファイナンシャル・プランニング
- 個人顧客の問題点の把握
- 問題の解決策の検討・分析

試験日程

9 月、2 月

検定料（テキスト代）

6,000 円

平成 27 年度の資格取得状況
